

# 千里の道も一歩から2

令和5年度  
東能勢小中学校  
進路通信 No.20  
10月25日  
発行者:松岡



## 事実か意見か

10月18日(水)の道徳の時間に、「事実蚊意見について」を行いました。「蚊は……」に続く文章を完成させ、その文章から事実とは何か。意見とは何かを考えました。そのことを通じて、

事実とは、「実際にあった事柄、調査・実験・検証などで必ず確認できること、客観的」

意見とは、「その人の考え・憶測、その人の判断、主観的」

と、みなさんで確認しました。

今回の授業を通して、これから生活していく中で、意見か事実かがわからないものにたくさん遭遇します。もしかしたら、事実と意見が入り混じったものに多く出会うかもしれません。

これから先、みなさんは多くの進路選択をしていかななくてはなりません。その選択をする上で参考にする材料が意見なのか事実なのか、また、どこまでが意見でどこからが事実なのかを見極める必要があります。

「〇〇さんが言っていたから…」、「△△さんが楽しそうだから…」ではなく、実際に自分で経験・体験してみ、事実を確認した上で、進路選択をしてください。

進路選択のはじめの一歩として、1学期から言い続けていますが、オープンキャンパスや説明会などに実際に参加し、その場所の雰囲気や空気感を感じ、事実を確認してください。

そして、周りの仲間が決めた進路(その人が決めた意見)を大切にしてください。決してその人の進路・意見を否定することのないように、お互いに尊重しあいましょう。

○今回の道徳での感想文を、下に一部抜粋して載せています。

- ・高校でもどんなことでも人の意見じゃなくて、自分で見て感じて判断しようと思った。
- ・もう少しちゃんと高校のことを考えていこうと思った。みんな一緒に入れる時間を大切にしようと思った。
- ・見学に行ったのは、まだ1校だけやから今からでも行こうと思った。



- ・人それぞれ考えることはちがうし、自分の意見をばかにされるのは、すごく嫌だと私も思います。それが事実だったとしても、人それぞれの受け取り方があるので、他の人の意見は尊重しようと思います。
- ・高校を選ぶときは、意見と事実を大切にしようと思った。行ってみたりして決めようと思った。
- ・気に入った高校には必ず行って実際に入学して後悔しないように事実を見に行こうと思った。この時期、無神経な言葉を発しないように気を付けようと思った。
- ・事実と意見を考えて、進路で自分が「ここが良い」という学校をちゃんと決めたいので、受けないと困ることが分かったから、もっと行って見てみようと思った。
- ・進路のことにに関して、事実と意見はどちらも同じくらいに大切だと知った。意見は人によって違うけど、それはその人が頑張ったことだから、否定は絶対にしてはいけないと思った。
- ・事実と意見ってこんなにも大事なんだなあと思った。そして、その人の進路を馬鹿にしたり、踏みこじったりすることは断じてあってはいけないものだと思った。
- ・他の人の意見も大事にするべきやけど、実際に自分で学校に行って事実を確認してから、自分の意見として自分がどう考えるのかを大事にしていきたいと思った。それを基にして、自分が行きたい学校を決めようと思った。
- ・進路を決めるのは自分だから、意見を聞くのはいいけど、人の意見だけで自分の進路を決めるのはやめようと思った。
- ・自分で事実をしっかりと調べてから考えることが大切だと分かった。他の人に言われたことだけで決めてしまうと失敗したり、後悔したりすることがあると思うので、よく考えて決めようと思った。
- ・自分が「気に入った」、「これがいい」と自分の意見をもって、そこからどうかと考えていくことが必要なのだと思った。
- ・うわさだったり、誰かから聞いて、この高校良いなって思ってたけど、実際に学校に行って事実を知りたい。後悔のない3年間を過ごしたいと思った。



## 来週、第3回実力テスト!

11月1日(水)に、第3回実力テストがあります。以前にも伝えましたが、私立や公立の入試当日に何点ぐらいとれるかをはかるものになります。また、努力したことで力がついているのか等を見ることができるものです。実力テストだからと言って、何もしないままの「実力」ではなく、復習をして力をつけた本当の「実力」が出せるように、残された時間を有意義に使いましょう。